

住民主体のまちづくり

No.57 2018. 10

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 中学生との懇談会

車尾・啓成地区青少年育成会役員6人ずつと東山中学校生徒会執行部8人が、懇談会を開催し、その中で、中学生の生活意識や状況について生徒自ら説明することにより、地域の大人が中学生の生活意識や実態について理解すると共に、地域の生徒に対する思いを生徒に伝えることで生徒との相互理解が図れます。

今年8月20日(月)午前10時から、中学校図書室で行われました。まず自己紹介し生徒は次の3点について思いを述べました。①住んでいる町をどう思うか②見守られているという意識があるか③町内に素敵な尊敬する人がいるか。次に生徒から東山中学校生徒会の組織と活動状況の説明がありました。その後4つのグループに分かれて、次の3つの協議の柱で話し合いました。①携帯・スマホの使用について②休日の過ごし方について③自己紹介で述べて3点です。まず項目ごとに順次、個人意見を1枚ずつ付箋に書き込みます。次に、それらの付箋の中から近い感じのするもの同士を集めてグループ化していきます。こうした作業の中から、協議の柱について意見集約や意思統一を生み出していきました。最後にグループごとに発表し、全体として協議の柱について他のグループの意見が確認できました。

生徒男子は「地域の方々の多様な考えに驚きと新鮮さ感じました。」

地域の男性は「生徒会は様々な取り組みをしていることに感心しました。任期の最後まで全うしてほしいです。」

■ 車尾2区で納涼会

車尾2区のにぎわいを生み出す『納涼会』が老人クラブと子ども会育成会の共催で8月25日(土)米子市水道局厚生寮の地内で実施された。午後4時30分からそうめん流し、午後5時30分から銭太鼓、午後6時30分からフラダンス、午後7時か

ら福引ききと続いた。また屋台台村が用意され、焼きそば・おにぎり・ジュース・ビールなど飲み放題食べ放題と昨年以上に来場者があり盛り上がりました。住民同士の交流と親睦をしっかりと深めた時間となりました。



■ 古墳を復元し公園に！

平成25年7月から始まった米子市水道局による観音寺山頂部の新配水池設置工事の過程で、米子市埋蔵文化センターが発掘調査を行い遺跡から古墳2基や段状遺構2基、竪穴住居跡1棟が出土した。古墳のうち1基は6世紀に築造と発表した。さらにこの6世紀の古墳から山陰で珍しい金銅製馬具の轡(くつわ)1対も見つかった。埋蔵文化センターは「被葬者は、九州とつながる中級以上の豪族」と見解を示しています。

地元の活動団体「さんさん会」は、この貴重な古墳を何とか後世に残そうと、立ち上がりました。

さんさん会の山根会長さんは「地域の宝として発掘場所で復元したかったが配水池の設置で止むを得ず、麓の『ため池』に隣接した場所で住民に呼び掛け古墳を造り直す作業が平成26年度から進められ、発掘当時の写真を見ながら一つ一つの石を積み上げて、この度8月26日(日)午前9時から小学生26名を中心に最後の仕上げを行い古墳公園として完成する運びとなりました。ぜひ多くの皆さんに見て欲しい。」と感慨深く語られました。

自分たちのまちは自分たちで(つくる つなぐ つづける)